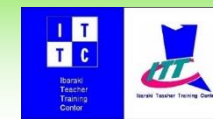


# 教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第16号 R元. 8.23

茨城県教育研修センター  
教科教育課  
☎0296-78-3213 (直通)



## 8 / 1 学校図書館を活用した授業づくり研修講座実施しました



講義「主体的・対話的で深い学びを創造する学校図書館」

青山学院女子短期大学

教授 堀川 照代 先生



ミニビブリオバトルの演習の様子

学習指導要領が改訂され、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が大きな柱の一つとなっています。新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、学校の「知の拠点」である学校図書館の役割は大きく、有効活用が期待されていることから、今年度新たに実施した講座です。

講義「主体的・対話的で深い学びを創造する学校図書館」では、青山学院女子短期大学の堀川照代教授から、言語活動の充実と言語能力についての考え方や、学校図書館をどのように活用すればよいか等について、具体例を交えてお話をいただきました。

次に、講義・見学「学校図書館の連携のあり方」では、県立図書館の大高靖行社会教育主事から、「学校図書館支援事業」の取組を通して、県立図書館と市町村立図書館や市町村教育委員会との連携について詳しくお話をいただきました。

この時間の後半は、受講者が3つのグループに分かれ、バックヤード見学、館内自由閲覧、各校の学校図書館活用の現状についての情報交換を順番に行いました。

最後に、講義・演習「これからの読書活動の推進」では、元日立市教育委員会子ども読書推進アドバイザーの窪木雅啓先生から、日立市の読書活動推進の取組を紹介していただいた後、受講者がミニビブリオバトルを体験しました。（ミニ・ビブリオバトルの流れは右の通りです）

今回の研修は、県立図書館を会場に、小中高特78人の先生方に参加していただき実施しました。次年度も、さらに内容を充実させて実施する予定ですので、奮ってご参加ください。

講義・演習「これからの読書活動の推進」  
～ビブリオバトルの実践を通して～  
元日立市子ども読書活動推進アドバイザー  
窪木 雅啓 先生

今回実施したミニ・ビブリオバトルの流れ

- 1 発表参加者が読んでおもしろいと思った本を持って集まります。
- 2 1人3分で本の紹介をします。  
(公式ルールでは5分です)
- 3 それぞれの発表の後に、その発表について2分間のディスカッションを行います。
- 4 全員の発表が終了したところで、「どの本が一番よみたくなったか？」で投票します。

ビブリオバトルの発表は、感想文を読み上げるのではなく、「相手にいかに面白さを伝えるか」がポイントです。

<受講者の感想より>

・バックヤードを見ることができ、大変楽しかったです。ビブリオバトルも、見る・聴くと、演じるでは印象が異なることがわかりました。

ビブリオバトルとは？ 知的書評合戦ビブリオバトル (<http://www.bibliobattle.jp/>)